

# 現場に聞く！ 介護職って実は…



辻 悠斗さん（介護職員 マキノ町在住）

**Q** かつて3Kと呼ばれていた介護の仕事ですが？  
**A** 進路を真剣に考えたのは高校3年生になってからです。先生や周囲の人の勧めで、福祉の専門学校に進学しました。福祉の世界はかつて3Kと呼ばれていたようですが、特に意識はしていませんでした。「実際に働いてみないとわからない」と考えていました。

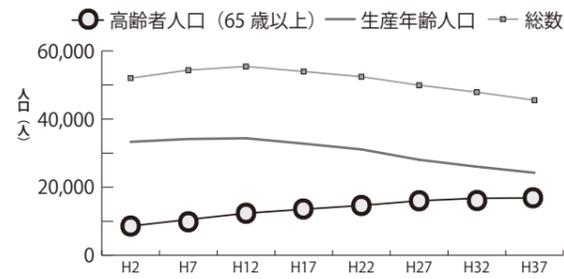


休みの日は卓球でリフレッシュ！

**Q** 実際に働いてみて利用者の方々に「ありがとう」と言ってもらえることが？  
**A** 地元で働くことを選んだ理由は？  
 地元で働くことと貯蓄ができると考えたことが大きいです。今は部屋を借りて、妻と子どもと暮らしていますが、将来的には実家の隣に家を建てたいと思っています。

**Q** 休みの日は？  
**A** 子どもと遊んだり、月に数回、社会人の卓球クラブで汗を流しています。ソフト制で休みの希望を出すことができますので、自分の時間を確保して試合にも出ています。

プライベートの充実、ライフスタイルの変化にも対応できる多様な働き方が可能です



資料：「高島市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画」  
 「第2次高島市総合計画」



高齢者人口のピークは、団塊の世代が全て後期高齢者になる平成37年！少子高齢化の進行により、高齢者人口の増加だけでなく、生産年齢人口の減少による労働力の低下が心配されます。

【高島市の男女別産業人口】

順位	男性	女性
1	製造業	医療・福祉
2	建設業	製造業
3	卸売・小売業	卸売・小売業
4	公務	宿泊業・飲食サービス
5	農業・林業	教育・学習支援業
6	サービス業	農業・林業
7	医療・福祉	生活関連サービス業・娯楽業

出典：平成27年国勢調査

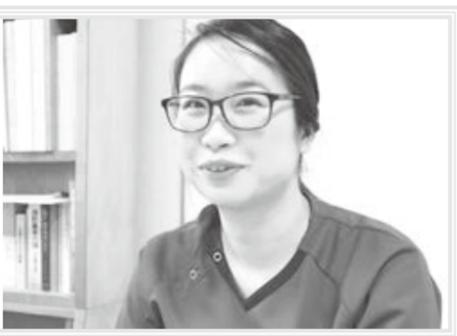
男女別産業人口をみると、医療・福祉分野で女性は第1位、男性は第7位となっています。多くの方が従事されている職種ですが、高齢者が増加するなかで今後ますます活躍の場が増える魅力ある職場です。

## ますます重要になる介護の仕事 でも、もっと人材が必要です！

地域における生産年齢人口の減少に伴い、介護サービスに携わる専門職の確保が難しくなりつつあります。特に、介護が必要な方の増加が続く高島市では、重要な課題となっています。市の産業人口で上位に位置する介護職ですが、新たな人材の確保が求められています。

子育て世代、ブランクのある方、Uターン…幅広い層に働いていただける職種です

**Q** 介護の仕事を選ばれた理由は？  
**A** もともと看護や介護、福祉の仕事に関心がありました。学生の時に、実習でお世話になった今の職場の印象が良く迷わず就職しました。



嶋本 明日香さん（介護職員 安曇川町在住）

**Q** 現在子育て中とのことですが、A はい、子どもが一人います。仕事の帰りに、保育園に迎えに行っています。

**Q** 勤務時間は？  
**A** 子どもがいるので、1日6時間勤務です。夜勤も今は外していただいています。

**Q** 育児明けで職場に復帰する際、不安はなかったですか？  
**A** 同僚に子育て中の方が多く、情報交換したり、アドバイスをもらったりできるので心強かったです。また、上司にも気軽に話せる環境なので、相談しやすい不安はなかったです。

**Q** 介護や福祉の職場を目指す人へのメッセージをお願いします。  
**A** 介護の仕事は「人対人」ですので、日々何かしらのうれしいことがあります。例えば、□数が少なかった人が、ケアを続けているうちに話をしてくれるようになったとか。長く働いていけば、必ずやりがいを感じられる職場だと思います。また、資格がなくても働ける現場もありますので、子育て世代、出産を機に退職された方、Uターンの方にも活躍いただけると思います。

介護や福祉に関心を持っている方  
お気軽にご相談ください！



### 高島市の人材確保の取り組み

市内での深刻な介護人材不足の課題に対応するため、介護サービス事業者と行政が一体的に協議を行う場として「高島市介護人材確保対策協議会」を設置し、介護人材確保策の企画や推進、関係機関・団体等との連携について検討をしています。

閩長寿介護課 ☎（25）8029